

義太夫節って? 玉藻前囃袂? 桂紋四郎がご案内!!



桂紋四郎



竹本碩太夫

玉藻前囃袂 道春館編

たまものまへあさひのたもと

みちはるやかた

義太夫節 聞いたことある?

ぎ

だ

ゆう

ぶし



鶴澤寛太夫



●東京公演: 令和7年 **7月3日** (木)

場所: 渋谷区文化総合センター大和田 伝承ホール 19:00開演 (18:30開場)

●札幌公演: 令和7年 **7月7日** (月)

場所: 六花亭ふきのとうホール 18:30開演 (18:00開場)

チケット 一般: **4,000**円 (当日4,500円) ベア券: **7,000**円 (2名ご入場可 / 前売・予約限定) U-25: **1,500**円 (座席数限定)

義太夫節 聞いたこと ある？

誰しも『はじめの一步』は踏み出せないもの。私(碩太夫)も他の舞台や演劇を初めて観に行くときは勇気がいり、緊張します。聞いたことがなくても楽しめる……いえ、聞いたことがない方にも楽しめるように“義太夫節の楽しみ方”をちょっとだけご紹介します。ワクワクしてきた所で名作を聞いてみましょう。楽しみ方は人それぞれ自由自在。江戸時代に大阪で生まれた庶民の娯楽。肩の力を抜いてお楽しみ下さい。

日時・場所

●東京公演

2025年 **7月3日** (木)
19:00開演 (18:30開場)

渋谷区文化総合センター
大和田 伝承ホール
東京都渋谷区
桜丘町23-21



MAP

上演時間1時間45分(予定)

●札幌公演

2025年 **7月7日** (月)
18:30開演 (18:00開場)

六花亭ふきのとうホール
北海道札幌市
中央区北4条
西6丁目3-3
六花亭札幌本店6階



MAP

チケット情報

●料金(全席自由/税込)

一般	4,000 円(当日4,500円)
ペア券	7,000 円(2名ご入場可/前売・予約限定)
U-25	1,500 円(座席数限定) ※ご入場は開演15分前からとなります。※当日、年齢の分かるものをご持参ください。お忘れの場合、一般料金でのご案内となります。

●チケット取り扱い

・チケットぴあ(Pコード:534508)

※ご購入時にチケットに整理番号が付与されます。当日は番号順にご案内致します。
<http://ticket.pia.jp/pia/event.ds?eventCd=2517646>



チケットぴあ

・メール予約(当日精算)

右記QRコード(会場別)を読み取ってお申込みください。
QRコードが読み取れない方は、メールの件名に公演地、本文に氏名、電話番号、券種、必要数を記入して下記アドレスに送信してください。

東京: kinotoi.tokyo@gmail.com
札幌: kinotoi.sapporo@gmail.com

※当日受付にてご精算いただけます(現金のみ対応)
※ご入場の際、事前購入(チケットぴあで購入)の方を優先させていただく場合がございます。予めご了承ください。



東京公演



札幌公演

お問い合わせ: ☎ hiro.tayu.official.staff@gmail.com

☎ 050-1726-1995 ※基本的にお問い合わせはメールでお願いいたします

主催: 乙亥の会 制作協力: 大の会 宣伝美術: 加藤 玲

たまものまへあそびのたもと みちはるやかた
『玉藻前囃快 道春館』ストーリー

主な登場人物



鷲塚金藤次
(わしつか きんとうじ)



萩の方
(はぎのかた)



桂姫
(かつらひめ)



初花姫
(はつはなひめ)



采女之助
(うねめのすけ)

あらすじ



道春館にいる萩の方のもとに、使者 鷲塚金藤次がやってきて「皇子が以前から望んでいる獅子王の剣(紛失中)を差し上げるか、もしくは桂姫の首を討って渡すか、二つに一つ」と返答を迫る



萩の方は、桂姫が実子ではなく、子のない夫婦が祇園参籠の帰りに拾った義理の子であることを明かし、「剣で殺さば三神への畏れ」と実子の初花姫を身代わりにするよう頼む



上意を受けた金藤次は身代わりを受け入れない。萩の方は、双六の勝敗が天道の指図として、負けた方の首を討てば、せめてはそれを定業と諦めることも出来ると提案する



様子を障子越しに聞いていた桂姫と初花姫は白装束(死装束)で双六盤の前に座り勝負を始める。桂姫が勝負に勝ち「姉を助けることが出来た」と喜ぶ初花姫。その瞬間、金藤次が首を刎ねたのは桂姫。萩の方は約束が違うと長刀を突きつけ激高する

このあと……

なぜ金藤次は約束を破り、初花姫でなく桂姫の首を討ったのか？そして、桂姫とはいったい誰の子なのか？ 采女之助に刺され深傷を負った金藤次は、衝撃の事実を語り始めるのであった……

出演者プロフィール



竹本碩太夫(たけもと・ひろたゆう)

きのとい 乙亥の会 代表。人形浄瑠璃文楽の太夫。札幌市出身。2015年4月、国立劇場文楽第27期研修生となる。2017年4月、竹本千歳太夫に入門し、竹本碩太夫と名乗る。同年7月、国立文楽劇場で初舞台。2020年度および2022年度の文楽協会賞を受賞。京都市芸術文化特別奨励制度の令和7年度(2025年度)奨励者に選ばれる。



鶴澤寛太郎(つるざわ・かんたろう)

人形浄瑠璃文楽の三味線奏者。奈良県出身。1999年、祖父である七世鶴澤寛治に師事。2001年1月、鶴澤寛太郎と名乗り国立文楽劇場で初舞台。2019年、竹澤宗助に師事。2013年大阪文化祭賞グランプリ、2018年度咲くやこの花賞、他多数受賞。

©堀田力丸



桂紋四郎(かつら・もんしろう)

上方落語家。大阪府吹田市出身。2010年 三代目桂春蝶に入門。東京・神田連雀亭や大阪・此花千鳥亭で毎月「桂紋四郎落語会「極」」を主宰。さらに、なんばパークス8階・相模エンターテインメントシヨール「日楽座」では英語MCを務め、伝統芸能と国際交流の架け橋として活躍し国内外に日本文化の魅力を「わかりやすく」「面白く」伝えている。2020年 繁昌亭大賞特別賞受賞。